



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所 東

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 遠藤 正樹

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 082-243-5844

2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,718	1.0	817	66.6	956	61.1	637	49.5
2019年3月期第2四半期	28,426	3.7	490	213.0	593	77.6	426	102.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 41百万円 (△88.9%) 2019年3月期第2四半期 374百万円 (△39.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2020年3月期第2四半期	26.14	—
2019年3月期第2四半期	17.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	64,562		31,781			49.0
2019年3月期	67,320		31,900			47.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 31,655百万円 2019年3月期 31,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	8.00			
2020年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	60,000	3.3	1,800	23.1	2,000	31.6	1,400	20.7	57.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	24,733,466 株	2019年3月期	24,733,466 株
2020年3月期2Q	348,630 株	2019年3月期	356,549 株
2020年3月期2Q	24,379,351 株	2019年3月期2Q	24,370,270 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、ホスピタルプロダクツ ビジネスユニットでは輸液・栄養領域を、サージカル&セラピー ビジネスユニットでは透析領域及び外科治療領域を、ブラッドマネジメント&セルセラピー ビジネスユニットでは血液・細胞領域を中心にそれぞれ事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ2億92百万円増加の287億18百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。利益につきましては、増収効果に加え、生産拡大に伴う稼働率の向上により、営業利益は8億17百万円（前年同四半期比66.6%増）となりました。また、持分法による投資利益の計上などにより、経常利益は9億56百万円（前年同四半期比61.1%増）となり、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億37百万円（前年同四半期比49.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

(日本)

薬剤調製・投与クロードシステム「ネオシールド」や血液バッグの販売が増加したものの、前年同四半期に保険適用拡大を受けて好調であった摂食嚥下関連用品の販売が減少したため、売上高は204億25百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。また、セグメント利益については、減収影響はあるものの、栄養関連製品への国際規格導入決定に伴う市場での切替えに備えた増産により工場の稼働率が向上したことに加え、子会社からの受取配当金の増加により、6億64百万円（前年同四半期比97.5%増）となりました。

(シンガポール)

北米向けの成分献血用回路やアフリカ向けの血液バッグの販売が増加したため、売上高は98億25百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により、6億12百万円（前年同四半期比63.6%増）となりました。

(中国)

フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットの販売が減少したため、売上高は13億12百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響はあるものの、経費の低減に努めたことにより、前年同四半期に比べ2百万円改善の1百万円の損失となりました。

(フィリピン)

日本向けの輸液セットの販売が増加したため、売上高は13億22百万円（前年同四半期比76.9%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果により、前年同四半期に比べ1億95百万円改善の18百万円の損失となりました。

(ドイツ)

血液バッグの販売が増加したため、売上高は15億61百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価の増加により、1億8百万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。

(その他)

売上高は24億95百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億57百万円減少の645億62百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ27億46百万円減少の350億2百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済により、現金及び預金が減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少の295億60百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13億79百万円減少の212億83百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済により、1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ12億59百万円減少の114億97百万円となりました。この主な要因は、流動負債への振替により、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少の317億81百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定が変動したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント上昇の49.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ10億44百万円減少の46億2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ84百万円増加の16億57百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ2億20百万円増加の15億67百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ7億30百万円増加の25億27百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績は、利益面で当初の予想を上回ったものの、第3四半期以降の経営環境には依然として不透明さが残るため、2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,081	4,502
受取手形及び売掛金	15,846	15,730
有価証券	149	138
商品及び製品	7,777	7,789
仕掛品	2,433	2,672
原材料及び貯蔵品	3,624	3,365
その他	867	833
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	37,748	35,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,413	8,248
機械装置及び運搬具（純額）	7,643	7,396
その他（純額）	7,356	8,519
有形固定資産合計	23,413	24,164
無形固定資産	503	491
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,665	4,915
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	5,654	4,904
固定資産合計	29,571	29,560
資産合計	67,320	64,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,808	8,695
短期借入金	4,220	4,097
1年内返済予定の長期借入金	3,483	2,747
未払法人税等	379	414
賞与引当金	1,075	1,055
その他	4,695	4,272
流動負債合計	22,663	21,283
固定負債		
長期借入金	10,626	9,204
役員退職慰労引当金	106	102
退職給付に係る負債	775	756
資産除去債務	141	136
その他	1,107	1,297
固定負債合計	12,756	11,497
負債合計	35,420	32,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	14,323	14,805
自己株式	△276	△269
株主資本合計	31,821	32,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	337
為替換算調整勘定	△353	△990
その他の包括利益累計額合計	△56	△653
非支配株主持分	135	125
純資産合計	31,900	31,781
負債純資産合計	67,320	64,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	28,426	28,718
売上原価	21,225	21,143
売上総利益	7,200	7,575
販売費及び一般管理費	6,710	6,757
営業利益	490	817
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	21	23
持分法による投資利益	182	142
補助金収入	20	71
その他	48	61
営業外収益合計	280	307
営業外費用		
支払利息	94	99
為替差損	68	54
その他	14	14
営業外費用合計	177	168
経常利益	593	956
特別利益		
固定資産売却益	4	2
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	28	6
特別損失合計	29	6
税金等調整前四半期純利益	568	952
法人税、住民税及び事業税	202	250
法人税等調整額	△61	63
法人税等合計	140	314
四半期純利益	427	638
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	637

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	427	638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	40
為替換算調整勘定	26	△637
その他の包括利益合計	△52	△596
四半期包括利益	374	41
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370	51
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	568	952
減価償却費	1,507	1,538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	41	32
受取利息及び受取配当金	△29	△33
支払利息	94	99
為替差損益(△は益)	12	△5
持分法による投資損益(△は益)	△182	△142
固定資産売却損益(△は益)	△3	△2
固定資産廃棄損	28	6
売上債権の増減額(△は増加)	480	255
たな卸資産の増減額(△は増加)	△435	△405
仕入債務の増減額(△は減少)	△139	△45
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1	39
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△29	△62
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△338	△478
その他	△15	△10
小計	1,558	1,740
利息及び配当金の受取額	29	33
利息の支払額	△96	△105
補助金の受取額	200	135
和解金の受取額	—	60
法人税等の支払額	△117	△205
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,573	1,657
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△27
定期預金の払戻による収入	10	1
有形固定資産の取得による支出	△1,150	△1,453
有形固定資産の売却による収入	6	22
無形固定資産の取得による支出	△83	△74
その他	△129	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,347	△1,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,700	8,292
短期借入金の返済による支出	△7,760	△8,410
長期借入金の返済による支出	△1,477	△2,105
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△194	△195
リース債務の返済による支出	△64	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,796	△2,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,573	△2,614
現金及び現金同等物の期首残高	7,220	7,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,647	4,602

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外連結子会社におけるIFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。

これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。また、流動資産の「その他」、「無形固定資産」、「投資その他の資産」に含めていた一部の資産については使用権資産への振替を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資産においては、有形固定資産の「その他(純額)」が11億25百万円、流動負債の「その他」が90百万円、固定負債の「その他」が3億5百万円それぞれ増加し、流動資産の「その他」が12百万円、「無形固定資産」が23百万円、「投資その他の資産」が6億90百万円それぞれ減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(在外連結子会社におけるASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識することが求められており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

なお、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,302	4,493	708	—	1,512	26,017	2,408	28,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,520	4,934	826	747	0	8,028	—	8,028
計	20,822	9,427	1,535	747	1,513	34,046	2,408	36,454
セグメント利益又は損失(△)	336	374	△3	△214	148	641	65	706

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	641
「その他」の区分の利益又は損失(△)	65
セグメント間取引消去	△233
持分法投資利益又は損失(△)	182
その他の調整額	△62
四半期連結損益計算書の経常利益	593

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,923	5,079	658	1	1,560	26,222	2,495	28,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,502	4,745	654	1,320	0	8,223	—	8,223
計	20,425	9,825	1,312	1,322	1,561	34,446	2,495	36,941
セグメント利益又は損失 (△)	664	612	△1	△18	108	1,365	56	1,422

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,365
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	56
セグメント間取引消去	△579
持分法投資利益又は損失 (△)	142
その他の調整額	△29
四半期連結損益計算書の経常利益	956

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「ドイツ」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。